

H27年10月15日

ハッピーハロウィンパーティー



訪問看護ステーションはーと
代表取締役 木戸 恵子

ハッピーハロウィンパーティー

季節も秋らしくなり、あちらこちらのテーマパークでハロウィンパーティーが開催されている。わがステーションの小児疾患のキッズも心ワクワク、パーティーを開いた。

当ステーションの小児数は現在10名、人工呼吸器管理は4名だが、この日のために体調と生活リズムを整え、4名とその家族、関係者が大集合し人工呼吸器ごとパーティー会場に来てくれた。連携している他ステーションのキッズも飛び入り参加し、2箇所のステーション合同のにぎやかなハッピーハロウィンとなった。

今回のパーティーの目的は2つ。お友達と出会うことでの成長発達支援と様々な経験を持つママたちが交流により、常に緊張した心が癒され地域で支えあうママ友ができること。在宅医や訪問看護師、ヘルパーも参加することにより、安心と安楽の環境整備も確保でき、満足度の高い会となった。

参加キッズ全てが経管栄養もしくは胃ろうであるが、ママ会には美味しい料理も場を和ませるためにベストと思い、サフランライスとシチューを用意、キッズにも可能な限りのまるごとカボチャプリンで演出した。トリック・オア・トリートのご褒美はマシュマロと手作りのカボチャバッチ、地域の高齢者たちがこの日のために制作してくださった素敵な折り箱に入れてプレゼント。どの箱にしようか迷う眼差しが日常の訪問ではみられない子供らしさに出逢えた。

学年差は多少あるものの、顔を見合わせニコニコの笑顔は、素晴らしいコミュニケーション術できらきらしていた。

在宅で療養している小児たちは何らかの障害や医療的規制の中でできるだけ自然体で暮らしたいと願っている。今回参加されたママたちからも春になったら、進級さくら会をしてほしいとの要望をさっそく受けた。縁あって出逢えたキッズとお母さんたちが共に成長していくことを想像すると、ますます創造的看護に磨きがかかる。暖かくなるのが楽しみである。

木戸 恵子









